



## 百人一首と CL(三)

2016

David K. Reynolds

この随想集は日本の百人一首が元になっています。どの作者の詠んだ一首か、探し当てるのも一興です。アメリカ・ロスアンゼルス CL インストラクター Paul Kroner さんが世界中のインストラクターに毎月発信している“CL News”letter”に一首ずつ掲載されています。

期待通り微笑とハグで迎えられる  
おかえりなさい！  
別々だった二人はまたいっしょになる

衰えてきた目、ひざ、記憶  
これまでの仕事を助けてくれた証  
サンキュウー、ガイズ！

以前ほど彼女がいないのは淋しくない  
時間と好奇心と庭仕事がある  
さしあたり気がまぎれる

うすら寒い夜と暖かい毛布  
眠りをたすけてくれる  
家の仕事と長距離ウォーキング  
同じく眠りに役立つ

何度も愛した 純粋に  
それなのにまた愛がめばえる  
われながら驚きだ  
愛の時期は永遠

月光がネオンの光を突き抜ける  
地面に綿を広げたような霧  
眠りについた街をぶらつく

一つになりそうなほど近くに植えられた  
2つの草木  
前は一つのものだったのでは  
新しく交わった花と葉。  
不思議な1対の植物

自分を遠くから見て分析できる  
万事に無罪と潔白はない  
それから目はぼやけてくる

写真も長い間に色あせる  
古くならない額はない  
このカメラ、この目、このこと  
変化が起こる

ずっと昔の思い出  
夏の陽ざしのようにいつまでも残る  
子供たちはとにかく早く寝なくてはいけない

これ以上この部屋で気づくものはないはず  
月が替わってめくるように  
カレンダーに変化をうながされる

風が過去を吹き飛ばす  
風が体を前にかがませる  
風が深呼吸するよううながす

(アメリカ・オレゴン州CLセンター所長)